

今日のトピック

最近の指標から見る中国経済(2015年6月)

追加金融緩和で徐々に景気加速へ

ポイント1

政策効果が徐々に浸透

生産は2か月連続の改善

■5月の製造業PMI(購買担当者景況感指数)は50.2と前月から改善しました。生産は前年同月比+6.1%と前月から伸び率が上昇しました。金融緩和などの政策効果が製造業では徐々に表れ始めたと見られます。

■5月の非製造業PMIは53.2と低下しましたが、好悪の境目となる50を上回る状況が続いています。小売売上高は、前年同月比+10.1%と伸び率の低下が止まりつつあります。また、全体に占める比率が1割強程度のeコマースでの小売売上高は、5月は年初来累計で前年同期比約39%増加し、高い成長を見せている分野も見られます。

ポイント2

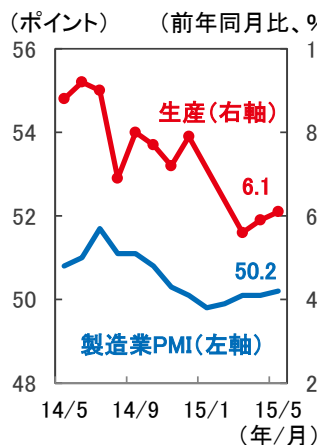
輸出の減少傾向も弱まる

輸入は内需減速から低迷

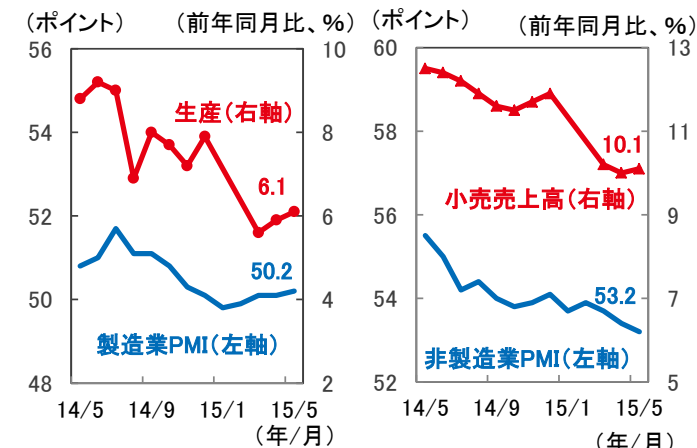
■5月の輸出額は人民元建てベースで前年同月比▲2.8%と前月から減少幅が縮小しました。米国向けの輸出の伸びが寄与しました。一方、輸入は同▲18.1%と内需減速による低迷が続いています。

■政府は生産性の低い製造業分野のウェイトを低め、付加価値の高い分野へシフトする構造転換を積極的に進めています。生産性の低い業種は、多くの資源を輸入に頼る場合も多く、輸入の抑制傾向は今後も続く予想されます。

製造業PMIと生産



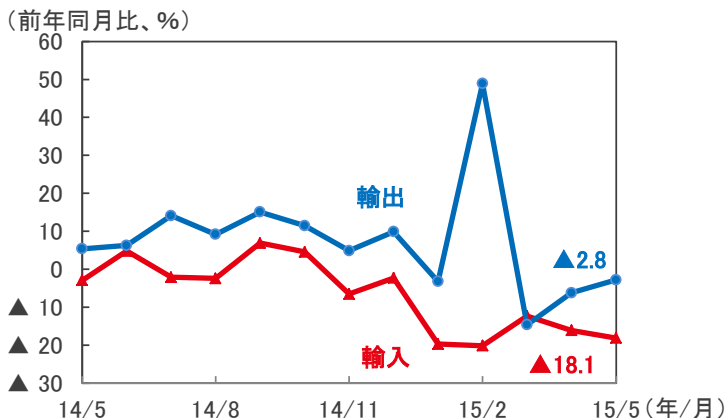
非製造業PMIと小売売上高



(注) データは2014年5月～2015年5月(生産と小売売上高は1月、2月を除く)。数字は2015年5月。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

輸出額と輸入額(名目ベース、人民元建て)



(注) データは2014年5月～2015年5月。数字は2015年5月。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

追加金融緩和などの政策効果により、成長目標達成が期待される

■今年の政府目標は「新常态」の実現です。そのため、経済構造の改革を推進し、これまでのような規模の大きな財政支出による景気テコ入れには消極的でした。国有企業改革や許認可の簡素化など、市場の効率性を活用した産業政策により重きを置いた政策の拡大が見込まれます。

■足元の成長率は、今年目標である+7.0%前後を下回っていると見られます。来年から始まる次期5カ年計画を見据え、目標達成への圧力が高まると見られ、追加金融緩和などによる景気テコ入れにより、バランスのとれた安定成長が期待されます。

ここも

チェック!

2015年06月12日 「中国製造2025」で製造強国を目指す(中国)

2015年05月28日 拡大する中国の「eコマース」市場(中国)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。